

沿線設備の検査データを測定するIoTセンサシリーズ

踏切警報機センサ

警報灯の灯電流・断続数と、警報音の音圧・打数を測定し、自動送信します。

警報灯測定

L1電流、L2電流、断続数を測定

LED式、電球式に対応

断続リレー1台分の警報灯を測定可能



警報音測定

通常音圧、減音音圧、打数を測定

スピーカ1台の警報音を測定可能(本体1台につき、警報音センサ端末最大4台接続可)

警報音センサ端末は、電池駆動且つ無線通信を使用するため、ケーブル施工不要



当社センサの主な特長

エッジでの設備状態良否判定で通信量を削減

無線通信活用で通信ケーブルの施工不要

既存設備を交換せずに取付可能

広温度範囲、瞬停対策、耐震性等の鉄道環境に対応

鉄道設備以外にも駅業務の省力化やお客様の満足度向上などさまざまな活用が可能ですので、お困りごとがあればお気軽にご相談ください。

詳しい仕様や設置構成図は裏面をご覧ください。



施工事例



外形寸法 (突起部等除く)



本体
W147×H147×D200mm
(信号用リレーC形相当)



近距離無線端末
W148×H219×D50mm



警報音センサ端末
W148×H219×D50mm

仕様

警報灯測定 (LED、電球)	灯電流L1 : DC 0~8A 灯電流L2 : DC 0~8A 断続数 : 20~100回/分
警報音測定 (700Hz+750Hzミックス波形)	通常音圧 : 55~95dB 減音音圧 : 55~95dB 打数 : 50~200回/分
電源	本体: DC24V±20% 警報音センサ端末: 3V (電池駆動)
周囲温度	-20℃~+60℃
相対湿度	90%Rh 以下 (但し結露しないこと)
振動	9.8m/s ² 以下
無線通信	920MHz帯LoRa方式

※外形、仕様等は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

設置構成図

